

## タイムテーブル

2020年 3月2日	1304 (A室)	1307 (B室)	1308 (C室)
10:00-	受付 場所:1310		
10:30 -12:35	OS:関係性デザインと関係論的システム(1)	支援システム・データ分析	ニューラルネットワーク・深層学習・ファジィ(1)
お昼休み (85分)			
14:00 -15:00	特別講演「工学教育や知能システム研究などにおけるデザイン思考の活用」 講師:見崎 大悟 先生 会場:1002		
休憩・移動 (25分)			
15:25 -16:40	OS:関係性デザインと関係論的システム(2)	学習・エージェント(1)	ニューラルネットワーク・深層学習・ファジィ(2)
休憩・移動 (35分)			
17:15 -19:15	技術交流会 (キャッスルプラザ)		

2020年 3月3日	1304 (A室)	1307 (B室)	1308 (C室)
10:30 -11:45	OS:関係性デザインと関係論的システム(3)	学習・エージェント(2)	ニューラルネットワーク・深層学習・ファジィ(3)
お昼休み (95分)			
13:20 -14:35	OS:関係性デザインと関係論的システム(4)	自然言語処理・機械翻訳	強化学習・深層強化学習
休憩・移動 (25分)			
15:00 -17:20	(併催行事)「第9回 賢さの先端研究会」 会場:1204		

## オーガナイズドセッション (OS) 紹介

「関係性デザインと関係論的システム」 オーガナイザー:下原勝憲 (同志社大学)

本セッションでは、ヒト・モノ・コトが相互依存し、連携・連動して機能する実体としてシステムを捉える関係論的な視点から、人間社会における関係論的なシステムの在り方を探究し、システムの創出のための方法論ならびに“関係性をいかにデザインするか”について議論します。

プログラム

2020年 3月2日	1304 (A 室)	1307 (B 室)	1308 (C 室)
10:00-	受付 場所: 1310		
10:30 -12:35	<p>OS: 関係性デザインと関係論的システム (1) 座長: 下原勝憲・高玉圭樹</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>個別最適行動からの行動探査によるアーカイブを活用した協調型マルチエージェント逆強化学習: 福本有季子, 長谷川智, 田所優和, 高玉圭樹</li> <li>マルチエージェント強化学習による目的数の異なるエージェント間の目的推定: Mitsuki Sakamoto, Yoshimiki Maekawa, Eiki Kitajima, Fumito Uwano and Keiki Takadama</li> <li>自他の発話に基づく画像検索とアイデア創出の関係: 柴田大輔, 山口裕, 大島千佳, 中山功一</li> <li>人間翻訳と機械翻訳における表現の相違点と考察: Akinori Sato, Katsunori Shimohara and Ivan Tanev</li> </ol>	<p>支援システム・データ分析 論文審査員: 館山武史</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自動運転における加減速を用いた覚醒度維持手法の検討: Shunsuke Shigenobu and Kenji Tanaka</li> <li>自動運転レベル2のシステム使用時の会話頻度の違いによるドライバの状況認識への影響分析: 平野寿明, Jieun Lee, 齊藤裕一, 伊藤誠</li> <li>体幹前傾角と下肢筋電位を用いた動作支援のための起立時間予測: Matsuo Ryota and Tsuyoshi Inoue</li> <li>マルチモーダルデータを用いた魚群の狂奔行動分析: 松本直也, 森田響, 大谷雅之, 川北光起</li> </ol>	<p>ニューラルネット・深層学習・ファジィ (1) 座長: 館山武史</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>構造適応型 DBN による眼底画像データセット Optos の分類: 市村匠, 鎌田真, 石川ますみ, 小川諒, 河野利治</li> <li>多制約多目的最適化問題に対する変分オートエンコーダを用いる評価値推定と解修復による進化計算法: 大塚一路, 原田智広, Ruck Thawonmas</li> <li>リカレントニューラルネットワーク及びアテンションモデルを用いた文章要約: 呉本亮, 鶴田拓士, 間普真吾, 大林正直</li> <li>位相相関画像と CNN を用いたロバストな移動量推定: 大石修也, 濱上知樹</li> <li>深層強化学習を利用したドライバーの眠気防止システムに関する一考察 : Kazuteru Miyazaki</li> </ol>
お昼休み (85 分)			
14:00 -15:00	特別講演 「工学教育や知能システム研究などにおけるデザイン思考の活用」 講師: 見崎 大悟 先生 会場: 1002		
休憩・移動 (25 分)			
15:25 -16:40	<p>OS: 関係性デザインと関係論的システム (2) 座長: 高玉圭樹・下原勝憲</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>睡眠習慣改善のための入眠前バイオフィードバックの有効性: Matsuba Toshiki, Takahara Madoka, Ivan Tanev and Simohara Katsunori</li> <li>読書メモの自動作成ー読書時の視線情報による読みのパターン化の試みー: 吉田智子, 高原まどか, Ivan Tanev, 下原勝憲</li> <li>ブロックチェーンを用いたユーザ間相互活用型災害検知システム: ウイリアム ペリン, Ivan Tanev, 下原勝憲</li> </ol>	<p>学習・エージェント(1) 座長: 巽啓司</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>分割法を用いた線形計画 ELM の開発: 石倉優資, 北村拓也</li> <li>マハラノビス距離を用いた部分空間法における原点移動: 大石悠貴, 北村拓也</li> <li>空中筆記動作による個人認証アプリケーションの開発: 江本悠真, 吉田岳, 北村拓也</li> </ol>	<p>ニューラルネット・深層学習・ファジィ (2) 座長: 館山武史</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>シンボリックシステムへの OR 論理に基づく拡張原理の適用: Uemura Yoshiki</li> <li>多次元少数データのための意味情報によるコミュニティ構造に基づくページアンネットワーク: 板橋雅弘, 濱上知樹</li> <li>Multi-level Attention を用いた多次元時系列データに対する予測: 井本稜馬, 濱上知樹</li> </ol>
休憩・移動 (35 分)			
17:15 -19:15	技術交流会 (キャッスルプラザ)		

# 第 47 回知能システムシンポジウム

2020 年 3 月 3 日	1304 (A 室)	1307 (B 室)	1308 (C 室)
10:00-	受付 場所：1310		
10:30 -12:35	<p>OS：関係性デザインと関係論的システム (3) 座長：真栄城哲也・下原勝憲</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>動的な Gift &amp; Circulation モデルのマルチエージェント・シミュレーション：田中鏡月, 塩屋諒, 米崎克彦, 塩津ゆりか, Ivan Tanev, 下原勝憲</li> <li>歩数データの可視化が健常高齢者に与える影響：Shoki Muramatsu, Yurika Shiozu, Ryo Shioya and Katsunori Shimohara</li> <li>関係資産モデルにおける"モノ"・"コト"の役割：Katsuhiko Yonezaki, Yurika Shiozu, Ryo Shioya, Mizuki Tanaka and Katsunori Shimohara</li> </ol>	<p>学習・エージェント(2) 座長：山口智浩</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ルールベースに基づく半自律型対話システム：川田愛華, 田中優衣, 大谷雅之</li> <li>包括的介護予防システムの基本的特性評価に関する研究 一知的対話エージェントと認知訓練システムの併用効果一：廣瀬翔, 北越大輔, 鈴木健太郎, 山下晃弘, 鈴木雅人</li> <li>ソフトウェアエージェントとのゲームにもとづく認知訓練システムにおける難易度調整機構の改良：坂本紫音, 北越大輔, 鈴木健太郎, 鈴木雅人</li> </ol>	<p>ニューラルネット・深層学習・ファジィ (3) 座長：濱上知樹</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>深層学習による死後 CT 画像を用いた死因鑑別：Noriyasu Homma, Ryota Sato, Xiaoyong Zhang, Takuya Konno, Amber Qureshi, Kei Ichiji, Akihito Usui, Yusuke Kawasumi and Masato Funayama</li> <li>組み込み PC によるコンクリートひび割れ検出構造適応型深層学習システムの開発：鎌田真, 市村匠</li> <li>Rail Steel Surface Fatigue Detection using a Hybrid Convolutional Neural Network：Xi-Long Kang, Chang-Hui Yang, Takashi Kuremoto, Shingo Mabu and Xian-Yi Duan</li> </ol>
お昼休み (95 分)			
13:20 -14:35	<p>OS：関係性デザインと関係論的システム (4) 座長：塩津ゆりか・下原勝憲</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>グリーンイグアナのポッピングの特性：松江優莉亜, Tetsuya Maeshiro</li> <li>漫才の第 7 世代の特徴：鳩貝裕乃, Tetsuya Maeshiro</li> <li>ラグビー選手の意思決定モデル：蕪木創平, Tetsuya Maeshiro</li> </ol>	<p>自然言語処理・機械翻訳 座長：大谷雅之</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>変分オートエンコーダを適用した雑談対話システムの検討：バトエルデネ バトバヤル, 山下晃弘, 北越大輔, 松林勝志</li> <li>Seq2Seq を用いたニュース記事の要約文生成：Yuta Yamada, Akihiro Yamashita, Daisuke Kitakoshi and Katsushi Matsubayashi</li> <li>Character-level CNN を用いた特徴抽出機構の評価と可視化：浅妻佑弥, 山下晃弘, 松林勝志</li> </ol>	<p>強化学習・深層強化学習 座長：植村涉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>複数エキスパートに対する敵対的逆強化学習：山下廣大, 濱上知樹</li> <li>Profit Sharing を利用した深層強化学習手法の提案：Naoki Kodama, Taku Harada and Kazuteru Miyazaki</li> <li>逆強化学習を用いた群強化学習法：竹内健也, 黒江康明, 前田裕</li> </ol>
休憩・移動 (25 分)			
15:00 -17:20	(併催行事)「第 9 回 賢さの先端研究会」 会場：1204		